

 **葛巻町**

防災マップ



安全で安心なまちづくり

町民のみなさまへ

近年、地球温暖化などの影響により、予想を超える災害が世界規模で発生しております。

平成28年8月の台風10号では、東北地方の太平洋側から上陸した初の台風となり、県内各地に甚大な被害をもたらしました。当町においても、馬淵川の氾濫や沢の増水により、家屋への浸水、田畑の冠水などの被害が出ました。

当町では、過去において台風や低気圧による豪雨により、河川の氾濫などで家屋への浸水や田畑の冠水などの自然災害が度々発生しています。「自分は大丈夫」「この地域は安全だ」という思い込みを捨て、いつどこで発生するか分からない災害に備えて、一人ひとりが災害から命を守るために、備蓄品を準備し、地域で開催される防災訓練等に参加し、防災、減災の知識を学び、地域コミュニティを築くことが大切です。このことにより、災害が発生しても被害を最小限にとどめることができます。

この度、災害に強い町づくりの一助として「防災マップ」を作成しました。このマップには、町内で発生する自然災害のうち予想される重大な災害として、土砂災害、洪水災害の危険箇所のほか、指定緊急避難所（各地区センター等）、指定避難所（学校施設等）の情報や防災対策に関する情報を掲載しました。作成に際しましては、自治会長など町民の方々から意見や情報提供などの御協力をいただき感謝申し上げます。

防災の基本的な考えは、「自分の命は自分で守る」です。まずは自分の命を守ることにより、愛する家族を守ることに繋がります。このマップを家庭や職場の皆さんの目が届くところにおいていただき、日頃から災害に備える気持ちを持っていただきますようお願い申し上げます。

葛巻町長 鈴木重男

索引

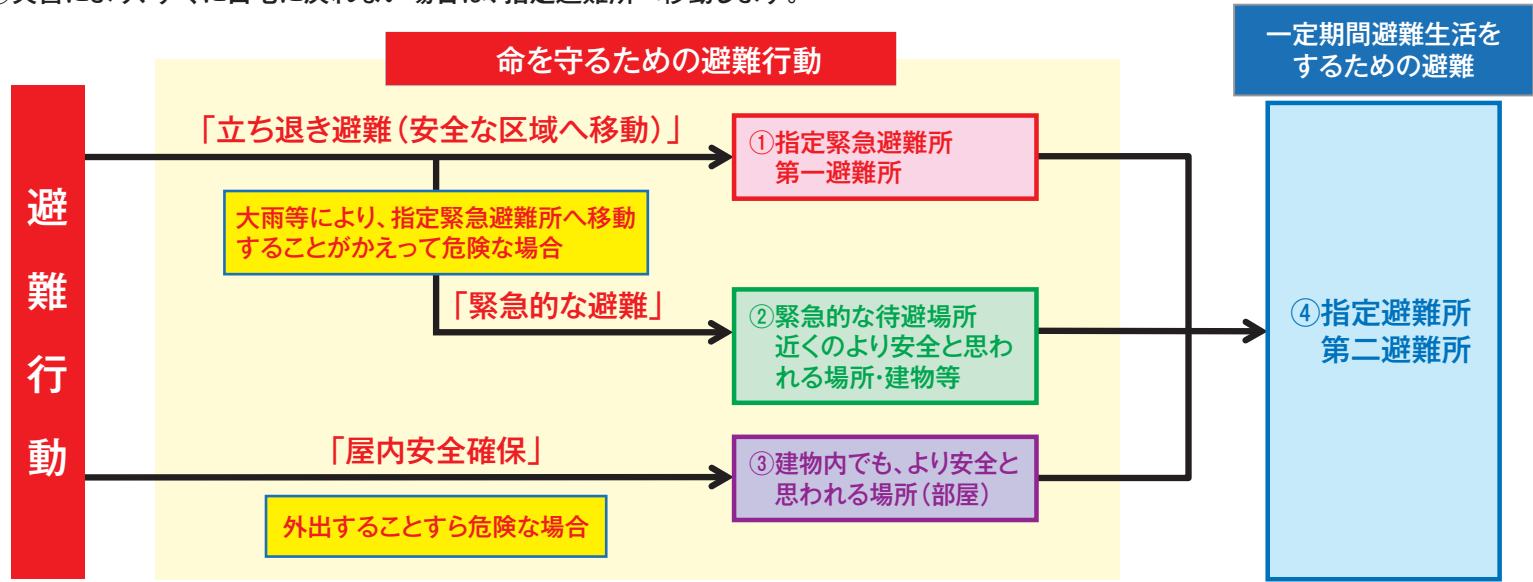
町民のみなさまへ・索引	1	非常時持出品の準備&チェック	9
避難行動の種類・避難情報	2	わが家の「防災・緊急情報」メモ	10
風水害対策	3	葛巻町指定緊急避難所一覧表	11
土砂災害警戒区域等	4	葛巻町指定避難所一覧表	12
土砂災害の種類	4	特別警報をご存知ですか？	13
洪水ハザード情報	5	葛巻町防災マップ全体図	14
地震対策	6	防災マップ1~16図(16図は拡大図)	15~46
火災対策	7	防災情報の伝達ルート	裏表紙
わが家の防災対策&チェック	8	防災関係機関連絡先等	

避難行動の種類（安全確保行動）

◎ 避難行動の基本は、立ち退き避難（水平避難）です。立ち退き避難とは、今いる場所から移動すること、危険区域から安全区域（被害の及ばない地域）へ移動することです。

しかし、状況によっては、移動することがすでに危険な場合があります。そのときには屋内安全確保（垂直避難）を考え、1階から2階や3階に移動することで安全を確保しましょう。

- ①「立ち退き避難」は、指定緊急避難所に移動することが原則です。状況によっては指定避難所に直接避難や移動場合があります。
- ②指定緊急避難場所へ移動することが、かえって危険な場合には「緊急的な避難」をとってください。
- ③外出することすら危険と思われるような場合には、建物内のより安全と思われる場所（部屋）、上階（垂直避難）の場所（部屋）、山からできるだけ離れた場所（部屋）で「屋内での安全確保措置」をとってください。
- ④災害により、すぐに自宅に戻れない場合は、指定避難所へ移動します。



※ 避難所は災害ごとに異なりますのでご注意ください。

避難情報

避難情報の違いを知っておきましょう

テレビ・音声告知放送・エリアメール等を通じて市区町村が出す避難情報には、状況によって違いがあります。

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
自主避難	<ul style="list-style-type: none"> ●災害の危険が迫っていると自ら判断した場合に個人または家族単位での避難を意味します。早め早めの避難を心がけましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて地域の避難所又は安全な場所などに避難してください。 ●避難中の食事や生活必需品はご自分で用意してください。
避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ●避難をするのに時間のかかる避難行動要支援者は、避難を始めなければならない状況です。 ●人的被害が発生するおそれが高まっている状況です。 ●台風や大雨等が夜中に接近・通過することが予想される場合等に発令します。 ●避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合に発令されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●今後の気象情報に注意を払い、避難の必要について考えてください。 ●高齢者、病人、障がい者などの方は支援者とともに安全な場所へ早めの避難を始めてください。 ●非常時持ち出し品を用意するなどいつでも避難できるように準備してください。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ●災害による被害が予想され、人的被害が発生するおそれがさらに高まっている状況です。 ●「土砂災害警戒情報」もしくは、「記録的短時間大雨情報」が発表された場合や土砂災害前兆現象が発見された場合、及び、河川水位が氾濫注意水位、避難判断水位を超過した場合もしくは超過するおそれが極めて高い状況にある場合等に発令します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●通常の避難ができる方についても、避難を始めなければならない状況です。 ●できるだけ早く安全な場所に立ち退き退避をしてください。（指定緊急避難場所や親族宅など災害のおそれのない安全な場所） ●立ち退き避難が困難とされる場合には、屋内でも上階の谷側に退避してください。
避難指示（緊急）	<ul style="list-style-type: none"> ●災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害が発生するおそれが非常に高まっている状況、または実際に人的被害が発生した状況です。 ●近隣で土砂災害及び洪水被害の発生を確認した場合や、河川水位が氾濫危険水位を超過した場合もしくは超過するおそれが極めて高い状況にある場合、また、避難が十分でなく、再度の立ち退き避難を警告する場合等に発令します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●避難中の方は確実に避難を完了してください。 ●いまだに避難していない方はただちに安全な場所へ避難を始めてください。 ●避難の時間的な余裕がない場合や外出することによってかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所に避難してください。

風水害対策

大雨などはわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 undanから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策。

まずは、
 確実な情報が大事
 その次に迅速な対応



強風注意報・暴風警報

強風により被害が発生するおそれがあると
 予想される場合や暴風により重大な災害が
 発生するおそれがあると予想される場合。

大雨注意報

大雨により被害が発生するおそれが
 あると予想される場合。

大雨警報

大雨により重大な災害が発生する
 おそれがあると予想される場合。

大雨特別警報

数十年に一度の大雨が予想される
 場合。

上記以外に「記録的短時間大雨情報」があります。(1時間雨量が100mm以上)
 注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づら らい。側溝や下水、小さな 川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きや すくなり危険地帯では避 難の準備が必要。	マンホールから水が噴出す る。土石流が起こりやすい。 多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の 発生するおそれが強く、厳 重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	風に向かって歩けない。 転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと 転倒する。風で飛ばされた物で 窓ガラスが割れる。	立ってられない。 屋外での行動は危険。 樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

- 日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
- 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

- 集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
 - 発生の予想は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。
- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
 - 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
 - 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
 - 飲料水や食料を3日分確保しておく。
 - 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
 - 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
 - 非常時持出品を準備しておく。
 - 危険な地域では、いつでも避難できるように準備をする。

つねに気象情報には、
 注意しておきましょう!



地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道などが立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。

土砂災害警戒区域等

土砂災害警戒区域

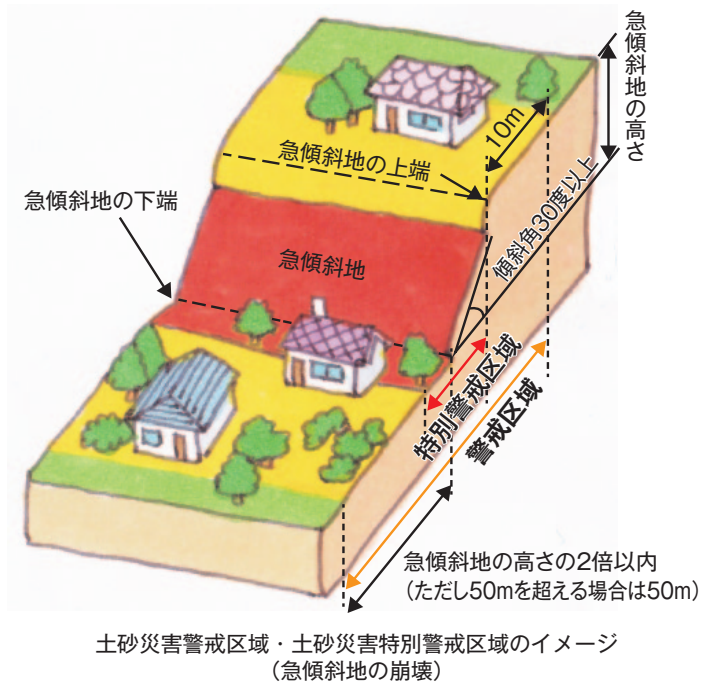
○土砂災害警戒区域とは、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。

- 土砂災害警戒区域（土石流）
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地）

土砂災害特別警戒区域

○土砂災害特別警戒区域とは、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。地図ページでは次のとおり表しています。

- 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地）

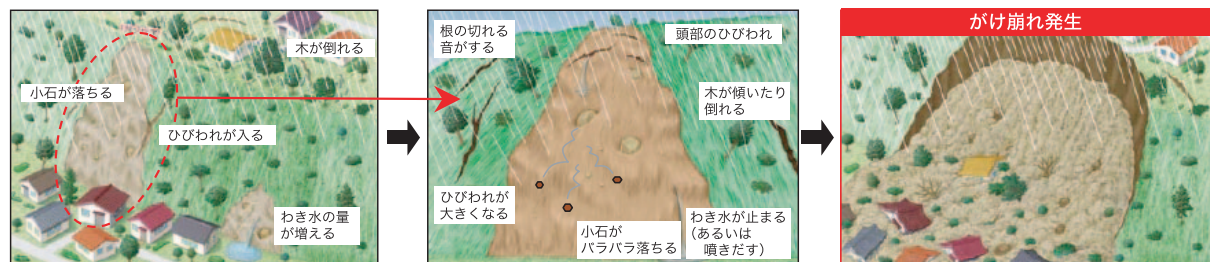


※土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域設定については、一部見込み情報を使用しています。

土砂災害の種類

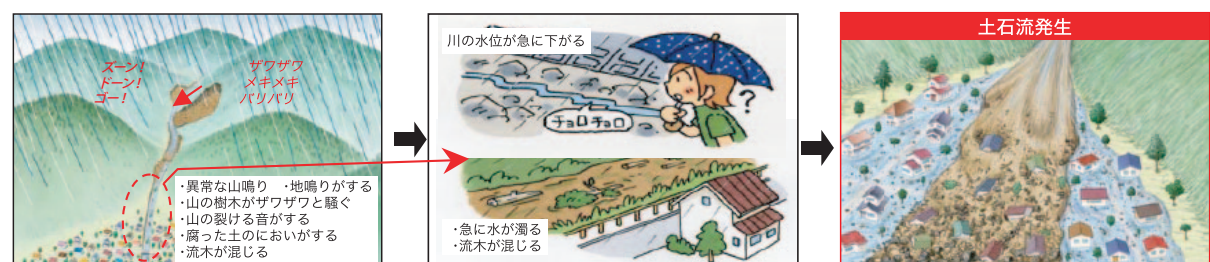
がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、大きな被害となります。



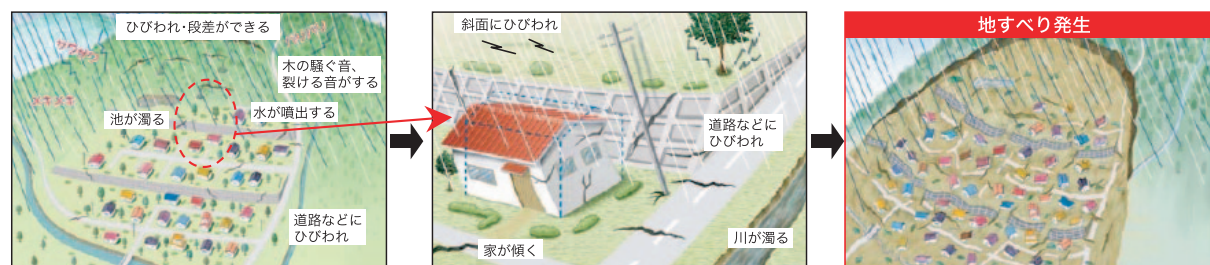
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に大量の土の塊が移動するため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



・土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や溪流、避難場所などをよく確認しましょう。また、前兆現象は、すべての場合において必ず起きるといった訳ではありません。

土砂災害の危険度参考情報については、岩手県土砂災害警戒情報システム (<http://sabo.pref.iwate.jp/>) で、リアルタイムに確認することができます。

洪水ハザード情報

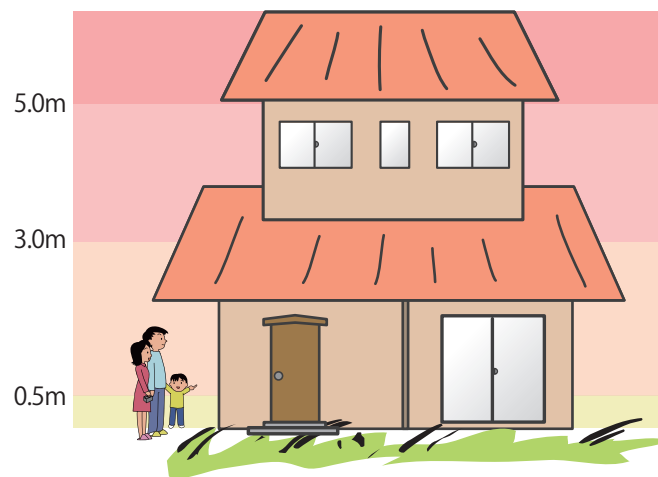
水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 説明

- 「葛巻町防災マップ」に表示している馬淵川洪水予報区間の水位周知区間について、水防法の規定により指定された。想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域及び浸水した場合に想定される水深を表示したハザード情報です。
- この浸水想定区域などは、指定時点の河道の整備状況を勘案して、氾濫した場合の状況をシュミレーションにより予測したものです。
- この防災マップをご使用の際は、支川の氾濫、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので十分注意しましょう。

●浸水ランクの目安 想定した大雨の規模(流域の2日間雨量317mm)

10~20m の区域	ビルの4階から6階が浸水する程度
5.0~10m の区域	・2階の屋根まで浸水する程度 ・ビルの3階まで浸水する程度
3.0~5.0m の区域	2階が浸水する程度
0.5~3.0m の区域	1階が浸水する程度
0.5m の区域	大人の膝までつかる程度



2 洪水情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害が発生するおそれがある場合、その旨を注意して行う。

洪水警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が発生するおそれがある場合、その旨を警告して行う。

水位周知を行う河川

- 馬淵川については、避難判断水位、氾濫危険水位が設定されています。これらの水位に達した場合、知事は関係市町村やマスコミを通じてお知らせします。

3 避難時の注意点

①安全で動きやすい服装を

- ・ヘルメット等で頭を保護する。
 - ・裸足で避難しない。脱げにくい運動靴で避難する。
- ※長靴は水が溜まると動きにくくなるのではない。

②足元に注意

- ・水の深さに注意する。
- ※歩行可能な水深は一般的に男性70cm、女性50cm。水の流れる場合はさらに注意が必要!
- ・水があふれたときは、マンホールや側溝、石などが危険。杖や長い棒で進行方向を確認しながら歩くようにしましょう。

③隣近所で声を掛けあって避難

- ・単独行動はしない。
- ・はぐれないようロープで互いの体を結んで流されないようにしましょう。

④要配慮者の安全確保

- ・病人や高齢者などは背負って避難する。
- ・子供は大人が手をつないで避難させる。その際、浮き袋を付けるようにしましょう。

地震対策 地震発生!そのときどうする

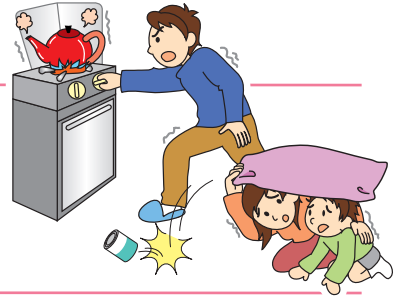
地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

1~2分

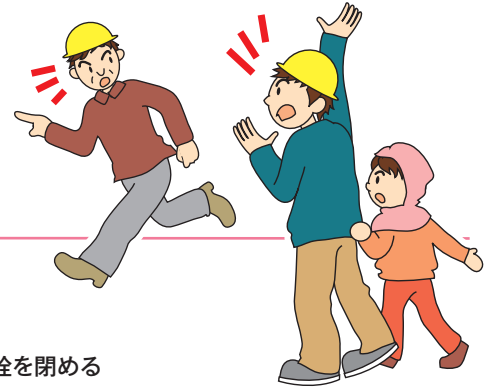
最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る安全確保 (手近な座布団などで頭を保護)
- すぐに火を消せるときは火を消す
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意



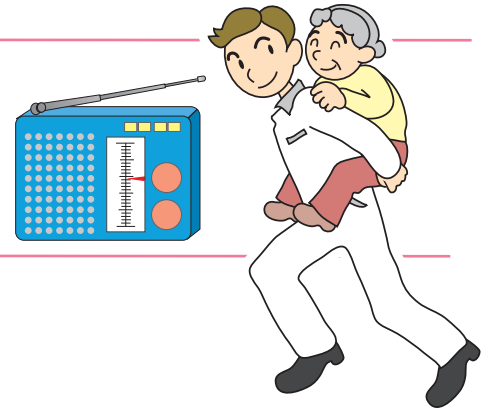
みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- | | | |
|-------------|------------------------------------|------------------------|
| ●隣近所に声をかけよう | ●要配慮者の安全確保 | ●隣近所で助け合う |
| | ●行方不明者はいないか | ●ケガ人はいないか |
| ●出火防止 初期消火 | ●漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める | |
| | ●消火器を使う | ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく |

3分

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●災害・被害情報の収集
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 救出・救護活動 ●無理な行動はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

10分
数時間
3日

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウやショーケースなどから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

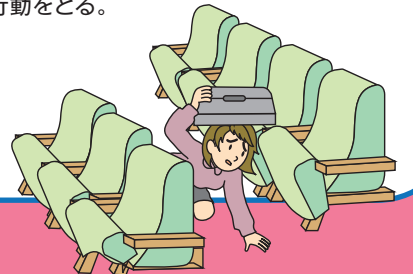


集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示に従う。あわてずに冷静な行動をとる。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に近づかない。

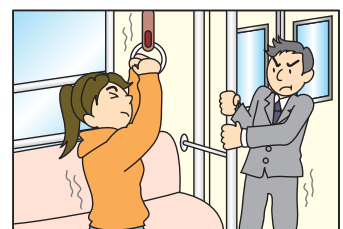


車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れず持ち出し、徒歩で避難する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。



火災対策 火災発生!そんなときどうする

初期消火の3原則

1人で消せるだろうと考えず、隣近所に火事を知らせ、すみやかに119番通報を。初期消火で火事を消せなかったら、すばやく避難しましょう。

1

早く知らせる

- 「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求める。声が出なければやかんなどを叩き、異変を知らせる。
- 小さな火でも119番に通報する。当事者は消火に当たり、近くの人に通報を頼む。

2

早く消火する

- 出火から3分以内が消火できる限度。
- 水や消火器だけで消そうと思わず、座布団で火を叩く、毛布で覆うなど手近のものを活用する。



火元別初期消火のコツ

油なべ

あわてて水をかけるのは厳禁。消火器がなければ濡らした大きめのタオルやシーツを手前からかけ、空気を遮断して消火を。

石油ストーブ

真上から一気に水をかけて消火(斜めにかけてと石油が飛び散って危険)。石油が流れてひろがっていくようなら毛布などで覆い、その上から水をかけて消火を。

衣類

着衣に火がついたら転げまわって消すの方法。髪の毛の場合なら衣類(化繊は避ける)やタオルなどを頭からかぶる。

風呂場

風呂場からの出火に気づいても、いきなり戸を開けるのは禁物。空気が室内に供給されて火勢が強まる危険がある。ガスの元栓を締め、徐々に戸を開けて一気に消火を。

電気製品

いきなり水をかけると感電の危険。まずコードをコンセントから抜いて(できればブレーカーも切る)消火を。

カーテン・ふすま

カーテンやふすまなどの立ち上がり面に火が燃え広がったら、もう余裕はない。引きちぎり蹴り倒して火元を天井から遠ざけ、その上で消火を。

3

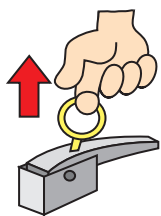
早く逃げる

- 天井に火が燃え移った場合は、速やかに避難する。
- 避難するときは、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を絶つ。



消火器の使い方

粉末・強化液消火器の場合



安全ピンに指をかけた上に引き抜く。



ホースをはずして火元に向ける。



レバーを強く握って噴射する。

消火器のかまえ方

- 風上に回り風上から消す。火元にはまともに正対しないように。
- やや腰を落して姿勢をなるべく低く。熱や煙を避けるように構える。
- 燃え上がる炎や煙にまどわされずに燃えているものにノズルを向け、火の根元を掃くように左右に振る。

火災予防が一番!!

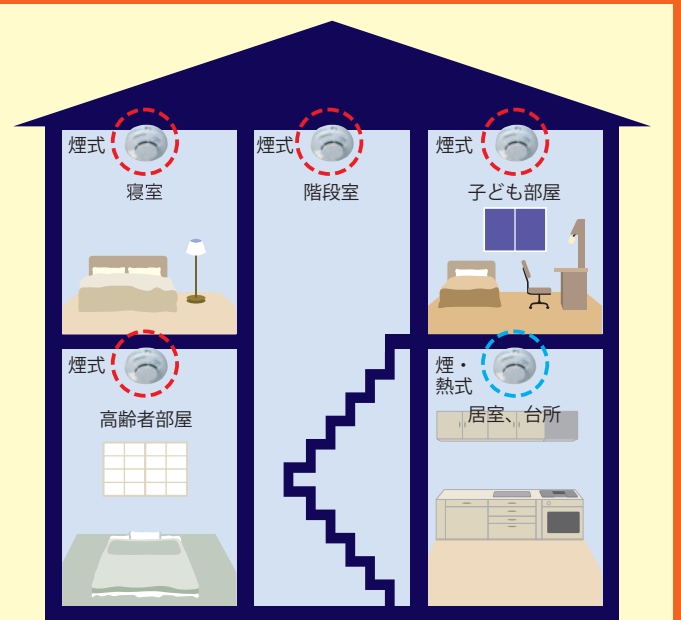
住宅用火災警報器(住警器)の適正な設置と維持管理を平成23年6月までに住警器の設置が義務付けられました。

【未だ設置していない世帯の方へ】住警器は人間の五感に替わり火災を感知するための機器です。火災による死傷者を無くすためにも設置しましょう。

【既に設置している世帯の方へ】住警器の電池や本体には寿命があります。定期的に点検を行い、計画的な交換をお願いします。

設置する場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の居室が寝室として使われている場合も含みます)に設置が必要です。
- 階段…1階以外に寝室がある場合の階段に設置が必要です。
- 台所・居室への設置もお勧めします。
- その他…寝室のない階でも、4.5畳以上の部屋が5部屋以上ある場合は、廊下に設置が必要です。



住宅内取付位置図

わが家の防災対策&チェック

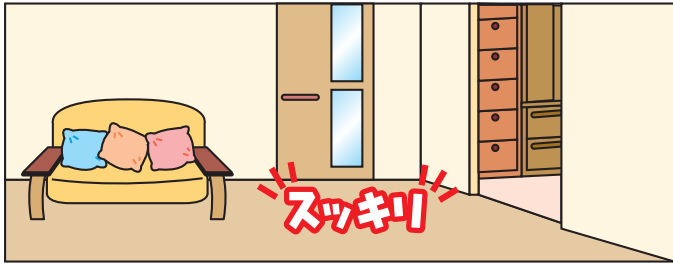
家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

1

家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

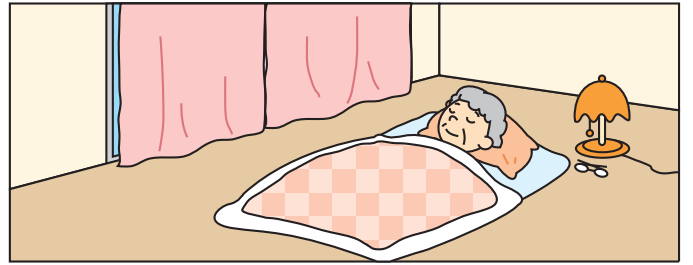
部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



2

寝室、子どもやお年寄りのいる部屋には家具を置かない

就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる危険性がある。



3

家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



4

安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

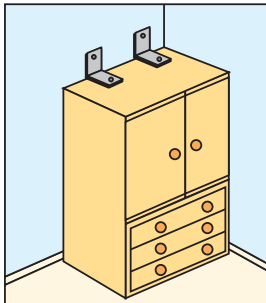
玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



家具の転倒、落下を防ぐポイント

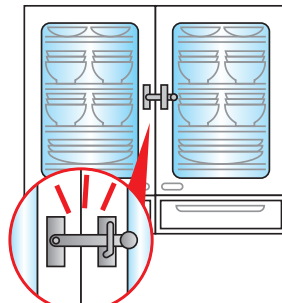
タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



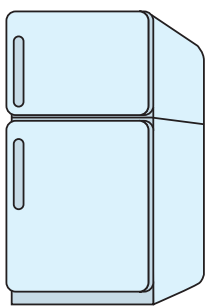
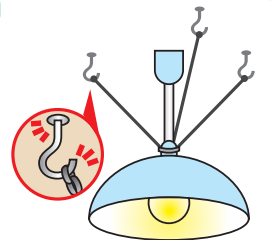
食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



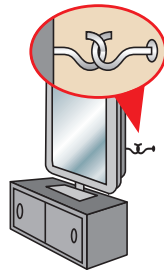
照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。



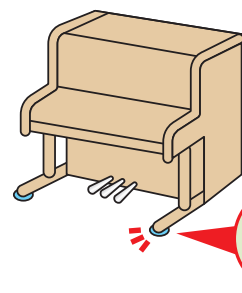
冷蔵庫

転倒防止用ベルトで固定します。



テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上など、高い位置はさける)。



ピアノ

転倒防止専用金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。

家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

屋根

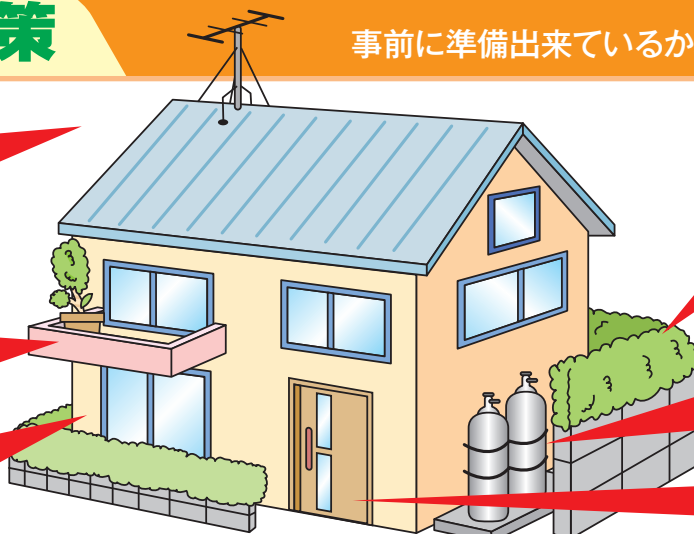
不安定な屋根のアンテナや、屋根がわらはは補強しておく。

ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

非常口の確保

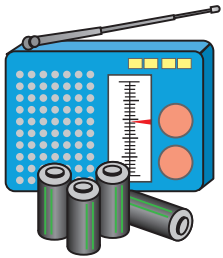
非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



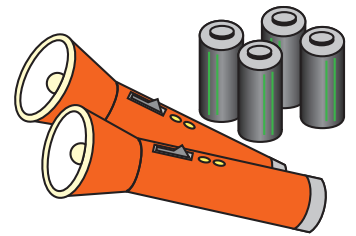
- 持病薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤

貴重品



- 現金
- 預金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

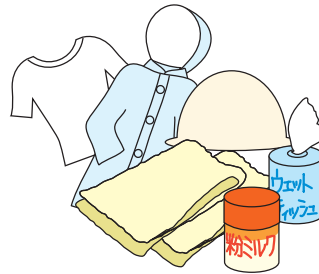
非常食品



火を通さなくて食べられるもの、食器など

- カンパン
- 缶詰
- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 缶切り
- 栓抜き
- 紙皿
- 紙コップ
- 水筒
- 割箸等

その他

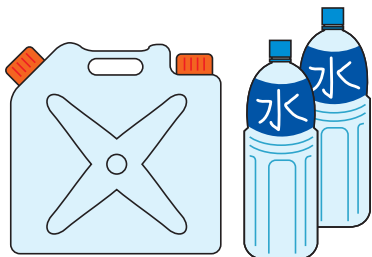


- 衣類(下着・上着など)
- タオル
- 生理用品
- 粉ミルク
- 離乳食
- 紙おむつ
- ウェットティッシュ
- 雨具
- ヘルメット
- ライター
- ラップフィルム
- 防災マップ(本書)
- (止血や食器にかぶせて使う)
- 防寒具(時季による)

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック✓しましょう。

飲料水



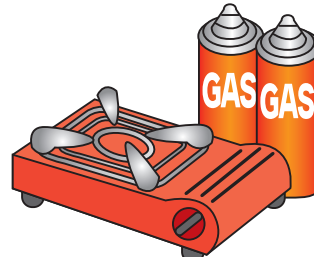
- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水したポリタンクなど

非常食品



- お米(アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を!

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



東日本大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、バールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常時持出品は、使用するとき支障のないように、定期的に点検しておきましょう。とくに食品や飲料水の賞味期限は早めにチェックし、賞味期限がせまったものから順に入れ替えておきましょう。

わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

世帯主氏名		電話	
住所			

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	持病薬	かかりつけ医療機関
【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。					

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

葛巻町指定緊急避難所一覧表

緊急避難所は地図内では赤字で表示しています。

(例) ① 吉ヶ沢児童館・ゆきわり荘

対象地区名	地区対象人数 (人)	避難所番号	地図番号	地図座標	施設名称 [第一避難所] (電話番号) 全施設非常用小型発電機配備 ★印：太陽光発電設備配備 R印：簡易救助器具配備	想定収容人数 (人)	対象とする異常な現象の種類				
							地震	大規模な火事	崖崩れ	土石流	洪水
吉ヶ沢	179	①	5	B3	吉ヶ沢児童館・ゆきわり荘 (66-0443) ★・R	73	○	○	○	○	○
土谷川	102	②	8	C4	土谷川生活改善センター (電話なし) ★・R	78	○	○	○	○	○
元木	199	③	9	A4	元木生活改善センター (電話なし) ★・R	38	○	○	○	○	○
小屋瀬	314	④	9	D4	小屋瀬農村センター (66-0809) ★・R	88	○	○	○	○	○
田代	256	⑤	6	E2	田代コミュニティセンター (電話なし) ★・R	52	○	○	○	○	○
平船	40	⑥	6	D1	平船集会所 (電話なし) ★・R	12	○	○	○	○	○
垂柳	115	⑦	3	C5	夢見る里ふれあい交流館 (66-1788) ★・R	62	○	○	○	○	○
小田	207	⑧	3	D3	小田林業研修センター (電話なし) ★・R	53	○	○	○	○	○
星野、馬場	335	⑨	4	A3	星野生活改善センター (66-4520) ★・R	53	○	○	○	○	○
		⑩	4	A1	鷹の巣公民館 (電話なし)	18	○	○	○	○	○
田子	467	⑪	16	B2	田子ふれあいセンター (66-2951) ★・R	54	○	○	○	○	○
城内小路、下町	256	⑫	16	B2	葛巻町コミュニティ防災センター (電話なし) ★・R	40	○	○	○	○	○
新町	354	⑬	16	C3	新町自治会館 (66-3037) ★・R	62	○	○	○	○	○
浦子内	382	⑭	16	D3	象鼻会館 (電話なし) ★・R	55	○	○	○	○	○
茶屋場	485	⑮	16	E3	茶屋場自治会館 (66-3529) ★・R	89	○	○	○	○	○
江刈馬淵	130	⑯	13	D4	馬淵中央公民館 (電話なし) R	27	○	○	○	○	○
		⑰	13	D1	馬淵農村婦人の家 (電話なし)	31	○	○	○	○	○
遠矢場	71	⑱	13	B4	遠矢場林業研修センター (電話なし) ★・R	53	○	○	○	○	○
車門	146	⑲	13	A3	西里公民館 (電話なし) ★	31	○	○	○	○	○
		⑳	13	A2	車門ふるさと会館 (電話なし) ★・R	31	○	○	○	○	○
山岸	160	㉑	12	F1	山岸公民館 (電話なし)	24	○	○	○	○	○
五日市	169	㉒	10	F5	五日市生活改善センター (電話なし) ★・R	51	○	○	○	○	○
栗山	146	㉓	10	E4	立の神会館 (電話なし) ★・R	40	○	○	○	○	○
泉田	119	㉔	10	E3	泉田公民館 (電話なし)	20	○	○	○	○	○
小苗代、中村	322	㉕	10	D2	江刈農村センター (68-2523) ★・R	146	○	○	○	○	○
寺田	165	㉖	10	C1	寺田公民館 (電話なし) R	20	○	○	○	○	○
橋場、大沢、野中	322	㉗	7	B5	橋場生活改善センター (電話なし) ★・R	51	○	○	○	○	○
四日市	280	㉘	16	F4	四日市コミュニティセンター (電話なし) ★・R	48	○	○	○	○	○
江刈川	117	㉙	7	E1	水車の里交流館 (電話なし) ★・R	34	○	○	○	○	○
上外川	22	㉚	12	A4	上外川林業研修センター (電話なし) ★・R	41	○	○	○	○	○
下冬部、田屋、根地戸	79	㉛	1	D3	田屋集落センター (電話なし) ★	23	○	○	○	○	○
市部内、境の沢	61	㉜	1	D3	冬部生活改善センター (66-1848) ★・R	53	○	○	○	○	○
名前端	44	㉝	1	E4	名前端公民館 (電話なし)	18	○	○	○	○	○
毛頭沢	13	㉞	2	F3	毛頭沢林業研修センター (電話なし) ★	18	○	○	○	○	○
前里	46	㉟	1	E5	前里集会所 (電話なし) ★	10	○	○	○	○	○
田部馬淵、正路	65	㊱	3	C1	やまぶきホール (電話なし) ★	10	○	○	○	○	○
寺畑、触沢	34	㊲	3	C2	田野構造改善センター (66-1230) ★・R	57	○	○	○	○	○
上田野	30	㊳	3	D3	田野集会所 (電話なし) ★	10	○	○	○	○	○

※ 洪水浸水想定区域の指定については、馬淵川流域だけとなっています。

洪水浸水想定区域の想定降雨量は「想定し得る最大規模」の降雨（降雨条件：年超過確率1/1,000）を対象としたものです。

※ 中心部拡大図は、16図に記載しています。

葛巻町指定避難所一覧表

指定避難所は地図内では青文字で表示しています。

(例) ① 吉ヶ沢小学校

対象地区名	地区対象人数 (人)	対象人数合計 (人)	避難所番号	地図図番号	地図座標	施設名称 [第二避難所] (電話番号) ★印：太陽光蓄電設備配備 R印：簡易救助器具配備	想定収容人数 (人)	と指定緊急避難所の重複	対象とする異常な現象の種類				
									地震	大規模な火事	崖崩れ	土石流	洪水
吉ヶ沢	179	179	①	5	B3	吉ヶ沢小学校 (66-0005) ★	232	○	○	○	○	○	○
土谷川	102	102	②	8	D2	もく・木ドーム (66-0555・プラトール)	351	○	○	○	○	○	○
元木	199	199	③	9	C4	小屋瀬中学校 (66-0631) ★	319	○	○	○	○	○	○
小屋瀬	314	314	④	9	D4	小屋瀬小学校 (66-0003) ★	274	○	○	○	○	○	○
			⑤	9	D4	小屋瀬デイサービスセンター さくら荘 (67-8011)	20	○	○	○	○	○	○
田代	256	411	⑥	16	B2	葛巻中学校 (66-2614) ★	473	○	○	○	○	○	○
平船	40		⑦	16	C3	葛巻小学校 (66-2714) ★	493	○	○	○	○	○	○
垂柳	115		⑧	16	B3	葛巻町総合センター (66-2111) R	161	○	○	○	○	○	○
小田	207	207	⑨	3	D3	旧小田小学校 (電話なし)	196	○	○	○	○	○	○
星野、馬場	335	335	⑩	4	A3	地域密着型特別養護老人ホーム すみれ荘 (67-1212)	28	○	○	○	○	○	○
			⑪	4	A3	旧星野小学校体育館 (電話なし)	134	○	○	○	○	○	○
田子	467	1944	⑫	16	B2	葛巻中学校 (66-2614) ★	473	○	○	○	○	○	○
城内小路、下町	256		⑬	16	C3	葛巻小学校 (66-2714) ★	493	○	○	○	○	○	○
			⑭	16	B3	葛巻町総合センター (66-2111) R	161	○	○	○	○	○	○
新町	354		⑮	16	D3	葛巻町社会体育館 (66-3607) ★	672	○	○	○	○	○	○
浦子内	382		⑯	16	F1	葛巻高等学校 (66-2624)	474	○	○	○	○	○	○
茶屋場	485		⑰	16	E3	葛巻デイサービスセンター (66-3010・特養ホーム高砂荘)	14	○	○	○	○	○	○
江刈馬淵	130	201	⑱	13	C4	旧馬淵小学校 (電話なし)	238	○	○	○	○	○	○
遠矢場	71												
車門	146	740	⑲	10	F5	五日市小学校 (68-2130) ★	288	○	○	○	○	○	○
山岸	160												
五日市	169												
栗山	146		⑳	10	E5	江刈デイサービスセンター 福寿草 (68-2391)	14	○	○	○	○	○	○
泉田	119												
小苗代、中村	322	322	㉑	10	D2	江刈中学校 (68-2132) ★	449	○	○	○	○	○	○
寺田	165	487	㉒	10	C1	江刈小学校 (66-3475)	314	○	○	○	○	○	○
橋場、大沢、野中	322												
四日市	280	397	㉓	16	D3	葛巻町社会体育館 (66-3607) ★	672	○	○	○	○	○	○
			㉔	16	F1	葛巻高等学校 (66-2624)	474	○	○	○	○	○	○
江刈川	117		㉕	16	E3	葛巻デイサービスセンター (66-3010・特養ホーム高砂荘)	14	○	○	○	○	○	○
上外川	22	22	㉖	9	C4	小屋瀬中学校 (66-0631) ★	319	○	○	○	○	○	○
			㉗	9	D4	小屋瀬小学校 (66-0003) ★	274	○	○	○	○	○	○
			㉘	9	D4	小屋瀬デイサービスセンター さくら荘 (67-8011)	20	○	○	○	○	○	○
下冬部、田屋、根地戸	79	197	㉙	1	E3	旧冬部小・中学校 (電話なし)	327	○	○	○	○	○	○
市部内、境の沢	61												
名前端	44												
毛頭沢	13												
前里	46	175	㉚	3	C2	旧田野小学校 (電話なし)	232	○	○	○	○	○	○
田部馬淵、正路	65												
寺畑、触沢	34												
上田野	30												

※ 洪水浸水想定区域の指定については、馬淵川流域だけとなっています。

※ 洪水浸水想定区域の想定降雨量は「想定し得る最大規模」の降雨（降雨条件：年超過確率1/1,000）を対象としたものです。

※ 中心部拡大図は、16図に記載しています。

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の”数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

地震警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合 (噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



テレビ・ラジオ



インターネット・気象庁ホームページ



音声告知放送・広報車

- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、気象庁HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4

電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)

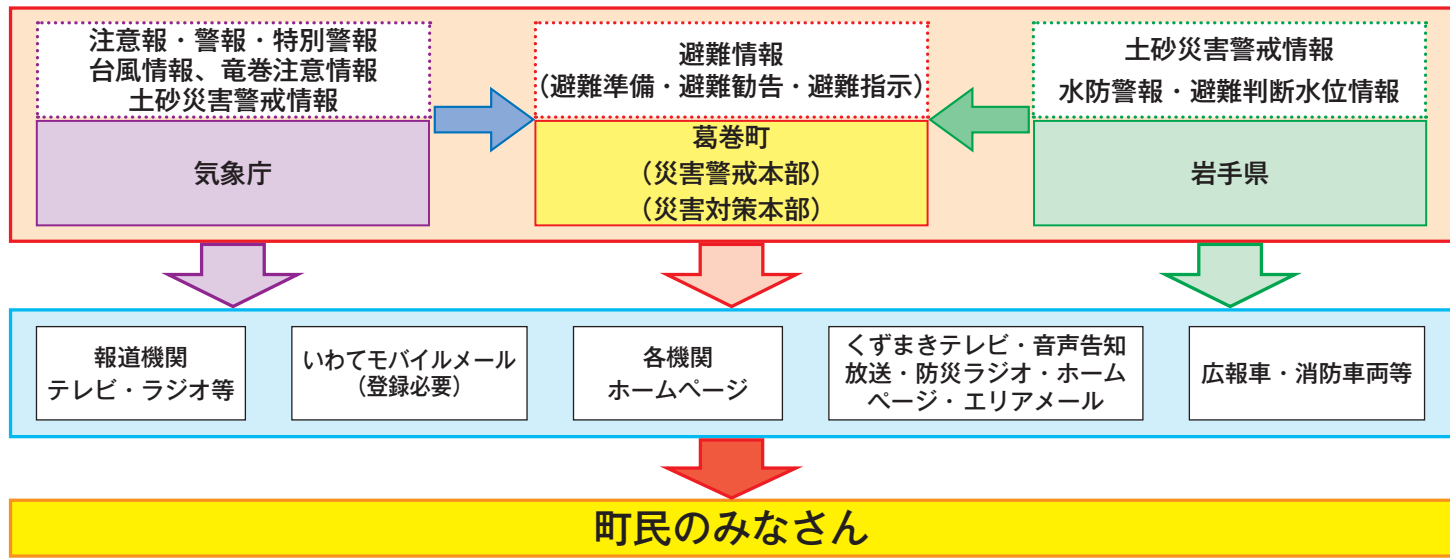
気象庁ホームページ

<http://www.jma.go.jp>

特別警報について

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

防災情報の伝達ルート



防災関係機関連絡（問合せ）先

災害関連全般	葛巻町役場	0195-66-2111
警察関係【事件・事故】		【緊急時】 110番
事件・事故等相談ごと	岩手警察署	0195-62-0110
	岩手警察署葛巻駐在所	0195-66-2609
消防関係【火災・救急・救助】		【緊急時】 119番
火災・救急等相談ごと	盛岡中央消防署葛巻分署	0195-66-2709
ライフライン関係		
町道・水道等	葛巻町建設水道課	0195-66-2111
国道・県道	盛岡広域振興局土木部岩手土木センター	0195-62-2888
停電・電線・電柱等	東北電力	0120-175-366
電話線・電話柱等	NTT東日本	113
		0120-444-113 (携帯電話、PHS、他社固定電話)

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

インターネットを利用し、気象予報や災害時に各自治体が発信する各種防災情報（避難勧告・指示等、避難所開設、河川水位・雨量情報等）をリアルタイムで入手することにより、早めの災害対策や避難行動が可能になります。また、デジタルテレビをご覧の方は、リモコンのdボタンを押すだけで、簡単にデータ放送画面を表示できます。

災害を未然に防ぐため積極的な情報収集に努めてください。

気象庁防災気象情報

- ・パソコンから <http://www.jma.go.jp/jma/>

国土交通省「防災情報提供センター」

- ・パソコンから <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
- ・携帯電話から <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

いわて防災情報ポータル —岩手県の防災情報を発信しています。—

- ・パソコン・携帯電話から
<https://iwate.secure.force.com/>



超高密度気象観測・情報提供（POTEKA）

町では、町内7箇所に気象観測用小型気象計を設置し、正確な気象情報をピンポイントで入手できるようにしました。

いつでもどこでもリアルタイムで天候、気温、湿度、風向、風速、雨量などの情報を入手することが可能です。

情報を入手する方法は、パソコンからは「POTEKANET（無料アプリ）」スマートフォンからは「MyPOTEKA（無料アプリ）」により閲覧（入手）することができます。

◎小型気象計設置場所は次のとおりです。

葛巻町役場、道の駅くずまき高原、小屋瀬農村センター、田部生活改善センター
江刈農村センター、馬淵中央公民館、森の館ウッディ

【この地図は、岩手県知事の承認を得て5,000分の1地形図を使用したものである。（平成30年2月6日森整第703号）】

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。（承認番号 平29情使、第444-A187号）】

【この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用した。（承認番号 平29情使、第445-A133号）】

・この地図を作成する際の土砂災害警戒区域指定情報については、一部指定見込み情報を使用しました。